



## 綿打地区 「地域のお宝」 支え合い発表会



### もくじ

- ・主催者あいさつ
- ・綿打地区の紹介
- ・基調講話
- ・事例（地域のお宝）発表と「地域のお宝」認定証授与



令和8年1月28日（水）綿打行政センターにおいて、ささえあい綿打（第2層協議体）と社会福祉協議会による「**地域のお宝**」支え合い発表会を開催しました。少子高齢化が加速化していますが、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、人と人とのつながりや日常生活の中で何気なく行われているちょっとした支え合い活動が重要です。そのような大切な活動を「**地域のお宝**」と称し、住民の皆様にご存知いただき、つながり・支え合いのあふれる地域づくりを進めていくため、開催しました。

### 基調講話



全国コミュニティライフサポートセンター  
参事 橋本泰典 氏

講師を迎え、基調講話を行いました。少子高齢化が進み、いわゆる2040年問題（団塊ジュニア世代が65歳以上になる）が現実味を帯びる中、高齢者のみの世帯や一人暮らしの増加を踏まえ、これからの10年をどう暮らし、地域をどう守るかについてご講演いただきました。人や地域の健康寿命を延ばすには「社会とのつながり」が重要であり、それが全国の課題「孤立・孤独」問題の解決につながるとの示唆がありました。

## 「地域のお宝」発表

### 高齢者の遊園地「早川いづみ会」



シニアクラブ「早川いづみ会」は、年間を通じて、会員が元気で楽しく過ごせる多くのイベントを開催しています。これらの活動は、介護予防や生きがいづくりにつながっているだけでなく、人と人がつながる場となり、日常の支え合いや見守りにもつながっていることが分かりました。

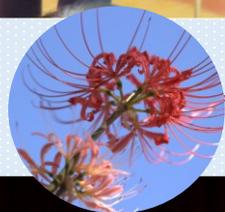
早川地区は、太田市内の行政区の中で最も高齢化率(54.6%)が高い地区ですが、こうした取り組みは、高齢になっても、一人暮らしになっても、安心して豊かな生活を送るための支えとなっています。

これらの活動が評価され、「地域のお宝」認定証が授与されました。

(詳細はつながる通信VOL.274)

### 下田中のつながいを育む

### 早川淵彼岸花の里を愛する会」



早川淵彼岸花の里を愛する会は、「早川淵彼岸花の里公園」や「下田中夏祭り」など、地域活動の担い手として取り組んでいます。一方、澤藤電機(株)は、社会貢献活動を通じてこれらの活動を支えています。両者の連携により、下田中住民がつながる場が活性化するとともに、澤藤電機(株)にとっても企業としての信頼を高める機会となっています。

今後の「地域づくり」においては、地域に存在する多様な主体同士、そして人と人がつながることが大切です。こうした先進的な取り組みが評価され、「地域のお宝」認定証が授与されました。

(詳細はつながる通信VOL.284・296)

#### 地域のお宝紹介



発表会に参加した方を対象に、アンケートを実施しました。「人とのつながりを考えるきっかけになりましたか」という設問には98%の方が「はい」と回答しました👍

人と人とのつながりやちょっとした支え合い(地域のお宝)の大切さをお伝えしていくことは地道な活動ですが、今後も各地区で実施していきますので、みなさんご参加下さい。

